

NTT東日本が設けた食用コオロギの飼育施設
|| 東京都調布市



NTT東日本は19日、食料不足対策として世界的に注目される食用コオロギの生産支援に向けた実証実験を始めると発表した。飼育事業を手がけているベンチャー企業「グリラス」(徳島県鳴門市)と組み、センサーや通信関連の技術を提

食用コオロギ 生産を支援

NTT東が実証実験

供して生産の省人化や自動化の手法確立を目指す。将来的に生産システムの外販も視野に入れる。

豊富なタンパク質を含む食用コオロギは、国内でも粉末化して菓子などの食品に利用され始めている。今回の実験ではNTT東が飼育施設を用意し、最適な温度や湿度をセンサーで一元管理。人工知能(AI)による画像診断で成長具合や異常も分析し、少人数で大量の飼育を実現したい考え。

NTT東が各地に保有する電話局内の遊休スペースを外部企業に貸し出し、飼育拠点とすることも想定。生産システムの販売と合わせ、2028年に数十億円規模の売上高を目指す。



145

小学校高学年向け
年組

設 問

【1】食用コオロギは、なぜ世界的に注目されているのでしょうか。漢字6文字で書き抜きましょう。

【2】今回の実証実験は、どのようなことを目指したものでしょうか。

【3】食用コオロギは、現在どのように利用されているのでしょうか。

【4】記事を読んで、食用コオロギは今後、人々に受け入れられていくと思いますか。自分の考えとその理由を書きましょう。